

ベルギーニュース

グランプラスにスターボックス

5/23、ブリュッセル・グランプラス4番地、La BrouetteとRoy d'Espagneの間に、チョコレートシェフの家に代わり、スタバが開店した。ブリュッセルでは、中央駅、メトロRogier、北駅に次ぐ4店目で、ベルギーで計13店舗となる。2008年ザペンテム空港に店舗ができたのが始まりで、これまで主に空港や駅に店舗を開いてきた。グランプラス店は年中無休で、月-木8-22h、金8-0h、土9-0h、日9-22hの営業となる。人気のカフェラテは、サイズにより€3.75、€4.25、€4.75。テラス席あり。

ブリュッセル市内でテロ

5/24、16時ごろブリュッセル市内のユダヤ博物館で射殺事件が発生した。男が銃を持って博物館に乱入、4人を撃ち、イスラエル人のカップルとフランス人女性がその場で亡くなった。病院に運ばれた博物館の従業員は、6/6に亡くなった。フィリップ国王は、遺族に対し哀悼の意を表した。ディ・ルボ首相は、言語、国籍、信念にかかわらず、ベルギー全体が連帯して団結しなければならないと語った。また、ブリュッセル市長Yvan Mayeurは、これはユダヤ人に対するテロだとの意見を述べた。サブロン広場で行われていたブリュッセル・ジャズ・マラソンは、事件のため中断した。6/1、マルセイユでフランス国籍のアルジェリア人Mehdi Nemmoucheが捕まった。彼はブリュッセルからバスでマルセイユに入り、持っていたかばんから射殺に使ったとされる銃や着ていた服などが見つかった。



放火

5/25未明、ワーブルにあるRTBF（ベルギーフランス語圏ラジオ・テレビ会社）のアンテナ塔が火事になり、ケーブル使用が不可能になった。このため、ブラッセルとワロン地方の複数のラジオ、テレビ、携帯電話の回線が不通となった。ケーブル塔の修理には莫大な費用と半年から1年の歳月がかかるため、長期にわたる有効な解決策を早急に取らねばならない。現状周波数を変更し番組は流れているが、鮮明な受信ではない。コンピュータを通してラジオを聞いたり、スマートフォンやデジタルテレビの回線を利用すると良い。Nivelsの検察庁は、火事は放火で、現場の金属製フェンスなどが切られていたと発表した。

ベルギーの安楽死

2012年の1,432名を26.8%上回る1,816人が2013年に安楽死した。これは月に150人、1日5人の計算になる。内訳は、男性51.7%、女性48.3%。地域別ではフランダース地方で80%と、フランス語圏をはるかに上回っている。年齢別では、53.5%が70-90歳、21%が60-70歳、7%が90歳以上、15%が60歳未満。



警察官運転講習

連邦警察によると、2012年にパトカーの事故が224件起きた。そのうち3分の1の事故は、サイレンを鳴らし走行中であった。今後、警察官を12回の優先運転に関する講習に参加させ、改善を図る。1回目の講習は9日間あり、5/28から始まる。各講習には理論、技術、実践が含まれる。



王室の結婚

アストリッド王女の長男アメデオ王子（27）が、イタリア人ジャーナリストのエリザベッタさん（26）と7月5日にローマで結婚することになった。現在は2人ともニューヨーク在住。イタリアでは、教会での結婚式が、同時に民事婚となるため式は教会のみで行われ、王室一族が招待されている。



初聖体

5/29、ローラン王子の双子の王子たちがChauumont-Gistoux（ブラバン・ワロン地方）の教会で初聖体拝領を受けた。式典は、教会のゲットマン神父と王家の友人ギイ・ジルベール神父が執り行った。式には、アルベール前国王とパオラ妃、フィリップ王と4人の子どもたちも参加した。この日マチルダ王妃は、Landen（ブラマン・フランダース地方）のがん患者支援のための自転車競技に参加した。



エリザベト王妃国際音楽コンクール

5/31、エリザベトコンクールの決勝が行われ、韓国のSum Hwang（28、ソプラノ）が優勝した。残念ながらベルギー人のJodie Devos（25、ソプラノ）は2位であったが、フランス語圏の国民が投票した観客賞も受賞した。3位はフランス人のSarah Laulan（29、メゾ）。決勝は、フィリップ国王、マチルダ王妃、長女のエリザベト王女も鑑賞した。2015年は、ピアノ部門のコンクールが行われる。

新国王万歳

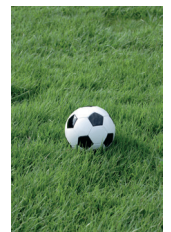
ブリュッセルで66%、ワロン地方で60%、フランダース地方で58%の国民が新国王フィリップを歓迎している。フランダース地方は10%も支持率が上昇した。2013年2月に同じ調査が行われたとき、ベルギー全体で53%、フランダース地方で48%の国民がフィリップ国王を支持していた。マチルダ王妃は王室中で一番の人気で24%の国民が支持している。調査は5/23と5/27に、16歳から70歳の1,004人を対象に実施された。

前国王テレビに

アルベール前国王がベルギーテレビ局RTL-TVIとVTMIに取材され、その模様が6/9、6/10の2日間放映された。国王は2時間にわたり若かりし頃、学業、パオラ妃との出会い、兄ボードワン元国王の死、デュトール事件、中絶などについて語った。王室局はインタビューに関して何の相談も問い合わせも受けなかった。この企画は、前国王の80歳の誕生日を記念して、彼の軌跡を物語った。初日6/9の視聴率は、フランス語放送で47.2%、オランダ語放送で39.7%であった。ベルギー国王がこのようなインタビュー番組に登場するのは、初めてであった。

赤い悪魔ブラジルへ

サッカーワールドカップへの出場のため、23人の赤い悪魔のメンバーが38人のベルギー代表団、53人のジャーナリストと共にブリュッセル航空でブラジルに到着した。飛行機の外観は、ベルギー国旗や赤い悪魔のマーク入りサッカーボールなどで特別に彩られていた。6/12にアメリカとの練習試合が予定されていたが、市内の渋滞で移動できず、試合はキャンセルとなった。6/17には本戦アルジェリアとの試合があった。ベルギー国内でも雰囲気盛り上がり、国民が気合を入れて応援している。



大手スーパー危機に直面

6/11、スーパーデレーズの労協協議会が特別に開催され、2015年から17年にかけて4億5千万ユーロを投資してデレーズの維持に向け改革することを発表した。この中には、業績の悪い地方14店舗の閉店、2,500人の人員削減も含まれており、労働者に波紋を呼んでいる。ルヴィエールの労働者は、即刻ストに入った。

